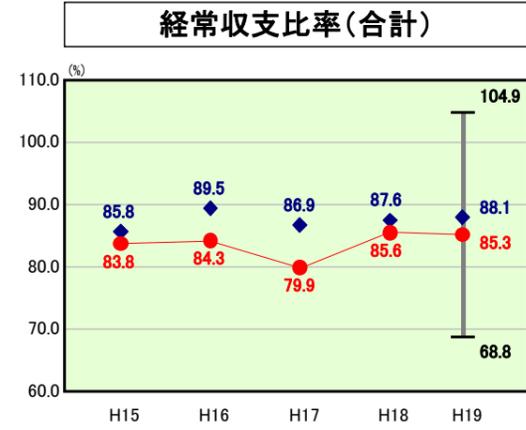


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

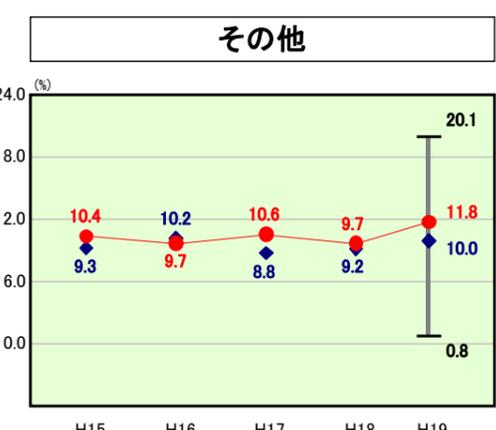
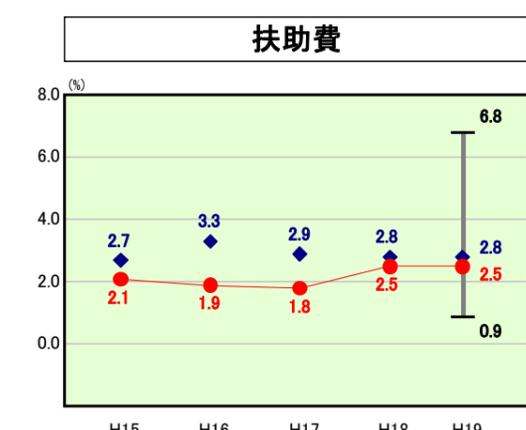
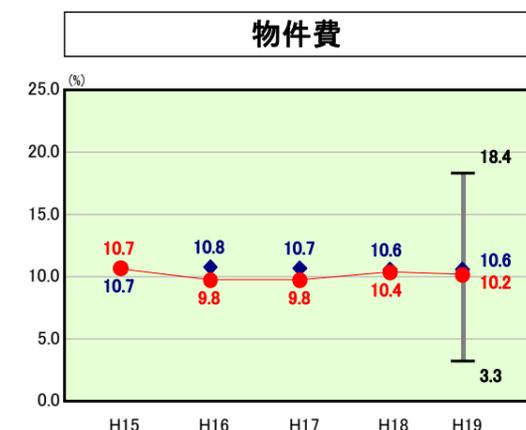
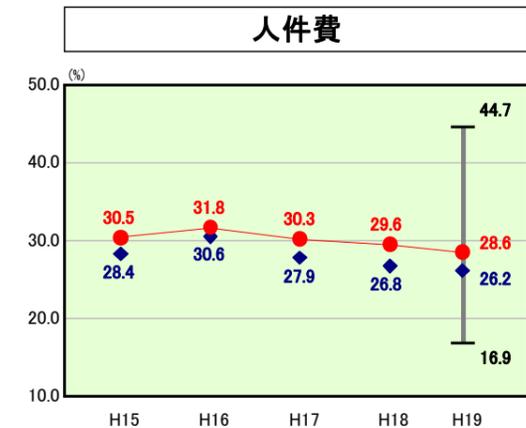
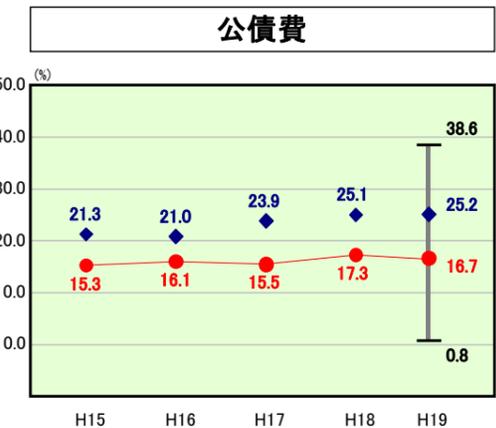
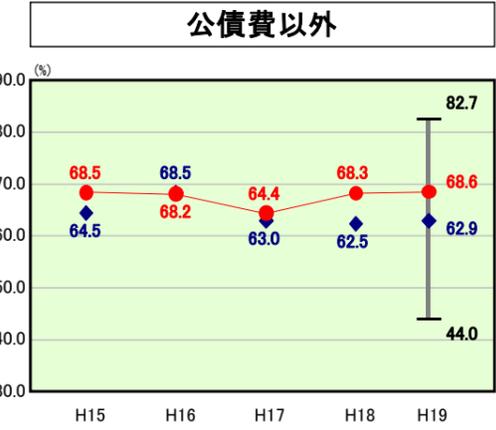
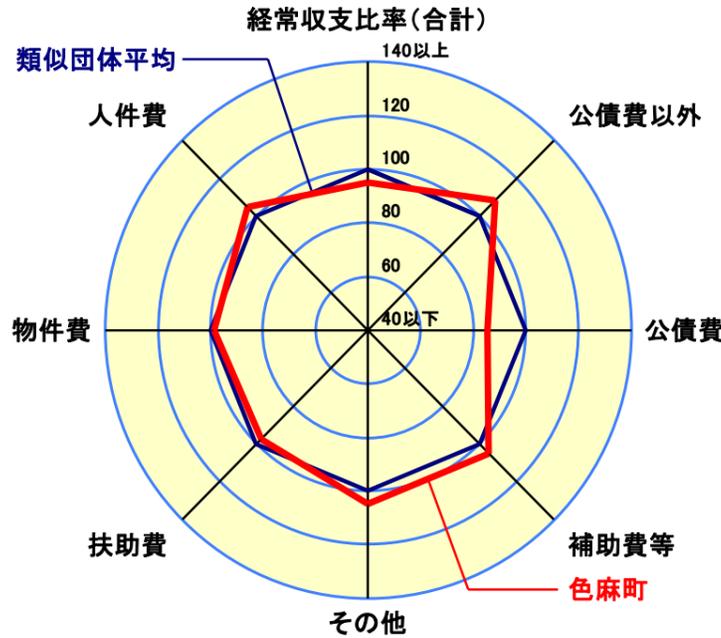
宮城県 色麻町

経常収支比率の分析



当該団体値 ●
 類似団体内平均値 ◆
 類似団体内最大値 ▮
 類似団体内最小値 ▾

人口	7,694人(H20.3.31現在)
面積	109.23 km ²
歳入総額	3,817,895千円
歳出総額	3,624,690千円
実質収支	169,361千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

経常収支比率

歳入の約4割を占める地方交付税の減額等により平成13年度以降は上昇傾向にあったが、平成19年度は若干の改善が見られた。割合から見ると、退職者に対する一般職員の補充率25%（退職者4人に対して1人の採用）等による経常経費の削減、普通建設事業の重点化による建設地方債発行の抑制により、「人件費」「物件費」「公債費」については、ほぼ横ばいもしくは若干の減少の傾向にある。しかし、老人福祉法や児童福祉法に基づき、福祉・教育分野を中心に様々な制度で支給されている経費、また町単独の施策として行う、乳幼児、児童への医療費の助成経費等が計上される「扶助費」については増加傾向にある。大崎地域広域行政事務組合や加美郡保健医療福祉行政事務組合等の一部事務組合や各種団体に対する補助金負担金等が計上される「補助費等」も横ばいもしくは若干の増加傾向にあるため、今後とも経常経費の削減に努める。

人件費及びそれに準ずる費用

人口1人当たり決算額は、類似団体平均を14.1%下回っている。しかし、下水道事業等の公営企業(法非適)等に対する繰上金は46.1%、大崎地域広域行政事務組合や加美郡保健医療福祉行政事務組合等の一部事務組合負担金は4.9%上回っており、平成18年度決算額と比較しても増加の傾向にあることから、下水道事業の経営健全化を継続し人件費に準ずる費用の更なる適正化を目指す。

公債費及び準公債費

人口1人当たり決算額は、類似団体平均より46.7%下回っている。下水道事業債償還に係る繰上金は類似団体平均よりも6.4%上回っているが、平成18年度決算時には16.2%の増であり、若干の改善が見られる。加美郡保健医療福祉行政事務組合の病院事業債に係る負担金は類似団体平均より73.1%上回っている。なお、平成20年度と平成21年度に公債費償還のピークを迎えるため一時的な増加が見込まれる。

普通建設事業費

色麻町まちづくり自立計画に基づき、防衛関連事業や辺地計画に基づく町道整備を、地方債の発行額を考慮しながら実施してきた。今後も補助事業等を活用し、真に必要なインフラを取捨選択して整備していく。